

研修 評価

研修名	行動変容を引き出すコミュニケーション				
領域	意思決定を支える力を高める研修	会場	研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅱ～Ⅳ） 募集数(80人)応募数(64人)参加数(62人)会員数(59人)非会員数(3人)				
日 時	令和6年9月25日（水曜日） 10：00～16：00				
ねらい（目標）	患者の行動変容を引き出すコミュニケーションスキルを学び臨床現場で実践できる				
講 師	菅家 智史 福島県立医科大学 総合内科・総合診療学講座講師				
内容・方法	<p>○講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動変容とは ・行動変容ステージ別スキル ・患者の思いを引き出す質問スキル ・共感と是認のスキル <p>○演習</p> <p>ロールプレイ（患者・医療者）・グループワーク</p>				
結 果	<p>○参加者数 62名 78% 【達成】・未達成】</p> <p>○アンケート結果(回収率79%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理解度 100% 【達成】・未達成】 ・自己課題の達成度 97.9% 【達成】・未達成】 <p>○受講者の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動変容をもたらすコミュニケーションについて、ステージ別に学び、それを実際に演習しながら学ぶことができた。臨床で生かすには訓練をする必要があり、研修内容を復習し自分の中に取り入れていきたい。 ・患者の行動を変えるのではなく、支援するということを理解することが大切と思った。患者だけではなく、周りや自分の行動を見直すことにつながる研修でした。 ・臨床で困った事例は、自分の関わり方が悪く、相手を困らせていることが分かった。患者の頑張りや迷う気持ちに寄り添い療養生活をサポートしていきたい。 				
評価・総括	<p>○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・達成しなかった】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など：適切であった。 ・アンケート結果：自己の行動の振り返りができ、ロールプレイが、実践につながる内容であり、満足度が高かった。講師の内容がわかりやすかった。 <p>○総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義だけではなく、ロールプレイが多く実践に役立つ内容であった。 ・アンケート結果から菅家先生の講義の継続を希望する声があった。 				
課 題	・特になし				
担当者	教育委員				

評価基準：

- ①参加数が募集数の70%以上
- ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上
- ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上
- ④アンケートの意見